

# 事業評価調書

## ◎基本情報

年度	令和3年	会計コード	10	一般	事業コード	37263	
事業名	大谷地流通業務団地高度化検討費						
評価担当課	所属名	経)経済戦略推 産業立地・戦略					
	課長名	杉本 大	担当者名	吉藤 正浩	電話番号	011-211-2481	
施策名	主	広域連携ネットワークの強化と投資環境の充実					
	副						
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外		戦略ビジョン	● 対象 ○ 対象外			
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費						
	○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理						
事業内容	実施形態	○ 直営 ○ 一部委託 ● 全部委託 ○ 補助助成 ○ その他					
	目的	短期	大谷地流通業務団地の物流機能の高度化に向け、各企業が取り組みを進めやすくするための環境を整備するため。				
		長期	大谷地流通業務団地の物流機能の高度化を図り、市内、道内の物流循環を活性化させるため。				
	取組内容	<p>施設の老朽化や設備面において主催者のニーズに対応できていないといった課題を抱えるアクセスサポロの施設更新等の検討を行うとともに、大谷地流通業務団地の立地企業の施設更新に必要な土地の確保等についても検討を進める。</p> <p>【実施業務】</p> <p>①新展示場整備基本計画の策定 ②新展示場PPP/PFI導入可能性調査</p>					
実施結果	<p>「(仮称)新展示場整備基本計画」の策定に向け、施設計画等の検討を行うとともに、PPP/PFI手法の導入可能性等について調査を実施した。</p> <p>また、新展示場の整備が周辺交通に及ぼす影響を検証するため、現時点における道立産業共進会場跡地周辺の交通量調査を実施した。</p> <p>経済観光委員会での報告、パブリックコメントの実施を経て、令和4年3月、「(仮称)新展示場整備基本計画」を策定、公表した。</p>						
事業実施における工夫点	新展示場の施設計画案を作成し、催事主催者に対してヒアリングを行ったほか、PPP/PFI手法の導入可能性調査に係るゼネコン等へのヒアリングを実施した。						
対象者	団地内の立地企業等			開始	平成31年度	終了	0年度
関連法令・条例・要綱等	流通業務市街地の整備に関する法律						
他都市の状況							

## ◎事業費

(単位:千円)

	令和2年度決算	令和3年度予算	令和3年度決算	令和4年度予算	
事業費	11,299	20,000	18,637	56,000	
うち特定財源	0	0	0	0	
人工	1.0	1.0	1.0	1.0	
人件費	7,200	7,200	7,200	7,200	
計(事業費+人件費)	18,499	27,200	25,837	63,200	
事業費の内訳	令和3年度決算	<ul style="list-style-type: none"> <li>・(仮称)新展示場整備基本計画策定支援業務:14,960千円</li> <li>・道立産業共進会場跡地周辺の交通量調査:3,070千円</li> <li>・出張旅費 606千円</li> </ul>			
	令和4年度予算	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新展示場PFIアドバイザー業務:28,000千円</li> <li>・地質等調査:9,000千円</li> <li>・埋蔵文化財の試掘調査:5,000千円</li> <li>・アクセスサポロ施設の現況等調査:12,000千円</li> <li>・花き市場との契約手法等検討業務:2,000千円</li> </ul>			

◎検証(振り返り)

活動指標1	指標名	市内展示機能の強化検討			
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
	検討	検討	検討	検討	
活動指標2	指標名				
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
成果指標1	指標名	高度化に向けた意欲が向上したと答える企業の割合(%)			
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
成果指標2	指標名				
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
項目	判定	理由			
事業の成果 (目的をどの程度達成できたか)	A	催事主催者やゼネコン等にヒアリングを行い、施設配置や諸室等の検証のほか、PPP/PFI手法の導入可能性についての調査を実施し、「(仮称)新展示場整備基本計画」を策定した。			
事業規模 (事業ボリュームは適切か)	A	催事主催者やゼネコン等へのヒアリング、整備予定地周辺の交通量調査は、「(仮称)新展示場整備基本計画」策定のために必要な調査であり、適切な事業規模である。			
事業の実施手法 (事業の効率性、実施主体は適切か)	A	PPP/PFI手法の導入可能性調査や新展示場の施設計画の検討など、専門性を要する業務については、業務委託を行い、効率的に実施した。			
対象者の満足度 (対象者のニーズに応えているか)	A	催事の主催者や、PFI手法を採用した場合に事業参加が期待されるゼネコン・運営事業者等にヒアリングを行ったほか、パブリックコメントの実施により、広く意見を募集し、計画への反映に努めた。			
市民参加の実施	<input checked="" type="checkbox"/> 企画 <input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 評価 <input type="checkbox"/> 対象外		市民参加結果への対応	<input type="checkbox"/> 回答 <input checked="" type="checkbox"/> 反映	
今後の改善点	新展示場の整備にあたり、事業者が参加しやすい条件とし、公平性、競争性を担保した公募を行う必要がある。				
前回の評価	● A    ○ B    ○ C    ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし				
今年度取り組んだ見直し内容	なし		見直し効果額 (前年度)	0	千円
今回の評価	● A    ○ B    ○ C    ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし				
評価の理由	催事主催者やゼネコン等にヒアリングを行い、施設配置や諸室等の検証のほか、PPP/PFI手法の導入可能性についての調査を実施し、「(仮称)新展示場整備基本計画」を策定することができたため。				
次年度の取組の方向性・改善内容	事業内容	<input type="checkbox"/> 改善    ● 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 新展示場整備の事業者の公募、選定手続きを行う。また、大谷地流通業務団地内の土地利用の手法について検討を行う。			
	予算	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他 新展示場整備事業に加え、大谷地流通業務団地内の土地利用の手法の検討も開始するため、予算規模は拡大する。		見直し効果額	0